

研究機関：広島大学

研究課題名	Wrap around flap 法術後の知覚回復に影響する因子の解析
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科上肢機能解析制御科学 教授 砂川融
研究期間	2018年8月29日(倫理委員会承認後)～2021年3月31日
対象者	1985年4月から2016年3月の間に、広島大学病院整形外科で親指の再建に Wrap around flap 法による治療を受けられた患者。
意義・目的	Wrap around flap 法はなくなった親指の再建の手術方法として優れた方法で、外観上は元の親指とほぼ同等であり、感覚（触った感じなど）もある程度は回復しますが、感覚の回復が不良となる場合がありますその原因についてはまだ十分に解明されていません。今回、手術で再建した親指が外観だけではなくより優れた感覚を回復する因子を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、利き手、手術までの期間、具体的な手術方法、手術後のリハビリテーション法、術後期間、術後の感覚検査結果です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 砂川 融
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5232 広島大学病院整形外科 助教 四宮陸雄